

研究 成 果 報 告 書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		森林開発と農家の経済厚生: インドネシアにおける持続可能なパーム油農園開発			
研究テーマ (欧文) AZ		Forest and Welfare: Sustainable Oil Palm Development in Indonesia			
研究氏 代 表 名 者	カナ CC	姓) ヤマモト	名) ユウキ	研究期間 B	2018年 ~ 2019年
	漢字 CB	山本	裕基	報告年度 YR	2019年
	ローマ字 CZ	Yamamoto	Yuki	研究機関名	長崎大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科・准教授			
概要 EA (600字~800字程度にまとめてください。) インドネシアでは、パーム農園の拡大による森林開発が急速に進んでいる。こうした生態系システムの攪乱は、害虫の捕食者の減少等を通じて、周辺の農業生産に影響を与えることが知られている。そこで本課題では、パーム油農園の拡大が、どのようなメカニズムでコメの生産性に影響しているのかについて、イネ害虫を取り巻く生物間相互作用の改変に着目したフィールド調査を実施し、生態系攪乱と実農業生産の関係性を定量的に明らかにした。結果として、農地周辺の森林残存量とイネの害虫(タイワंकモヘリカメムシ等)量との間に相関があることがわかった。したがって、森林生態系が農業生産に一定の影響を与えていることが示唆されている。 一方で、パーム農園は追加収入や雇用機会の増加を通じて地域の農家の経済厚生を改善する可能性がある。本課題では、大規模パーム農園の衛星データと世帯調査情報を組み合わせて、パーム農園による経済的便益は均一ではなく、また、予期しない社会的変化をもたすことを明らかにした。具体的には、農園が設立された地域では、土地を保有する農家の所得は向上するが、土地を持たない農家の所得は変化しないことがわかった。土地を保有する農家は作物転換などの対応によって追加的な所得獲得の機会を得られるが、土地を保有しない農家は農園での賃金が低く抑えられている可能性がある。また、農園が設立された地域では、女兒の高等教育への参加率が著しく低下していることもわかった。16歳から22歳の女性の婚姻率が上昇していることから、一部の農家の所得が向上が婚姻市場へ影響を与えたことが、高等教育参加率減少の原因であると考えられる。高等教育参加率の減少がどのようなマクロ的影響をもたらすのかについて、さらに研究を進める必要がある。					
キーワード FA	インドネシア	パーム油	持続可能	農家	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	～	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要 ^{EZ}

In this project, we examined the social and economic consequences of the oil palm boom in Indonesia. Using nationally representative survey data combined with satellite information on the expansion of large-scale oil palm in Indonesia, we estimated the impact on household farm income and school enrollment rate and marriage of the younger generation. The main findings are as follows. First, farmers in plantation areas experienced a boost in income in response to the global price boom. However, the income increase was limited to farmers who own farmland in oil palm plantation areas. Second, the enrollment rate at senior high school and college for females in palm plantation areas decreased, while no change was found for males in both plantation and non-plantation areas. The decline in the female enrolment rate is attributed to an increasing marriage rate among young women who exposed to the price boom. These results indicate that the expansion of the palm oil industry in Indonesia leads to heterogeneous social and economic consequences depending on economic status or gender through the global market.